

第25期 滋賀県産業教育審議会 第4回会議 会議概要（案）

日時 令和3年6月16日（水）13時15分～15時15分
場所 滋賀県大津合同庁舎7A会議室
出席委員 会場：蔡委員、中平委員、川口委員、山崎委員、秋山委員、白井専門委員、
小島専門委員
リモート：山根委員、中村委員、清水委員、飯田委員
以上審議委員9名、専門委員2名出席
欠席委員 中川委員（敬称略）
県出席者 福永教育長、谷口教育次長、森教育次長、辻教育総務課長、横井高校教育課長、上田魅力ある高校づくり推進室長、明吉参事、伊吹参事、岸村主幹、他関係職員
傍聴者等 傍聴：3名 報道：2社

1. 開 会

2. 報 告

(1) 滋賀県産業教育審議会第3回会議の概要について

事務局より資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

3. 協 議

「これからの産業教育の在り方について」

(1) 審議まとめ 答申素案について

事務局より資料に基づき説明があり、意見交換が行われた。意見を反映した答申案を次回の審議会で協議することとし、文言等の修正については、会長一任とすることとした。

主な意見は次のとおり。

① 全体構成および前文について

○全体構成については、特に意見なし。

○前文については、中学生にとって、より広い選択肢として産業を学ぶ専門高校があり、高校のうちから専門的なこと学べるという産業教育の魅力や、専門高校の立ち位置として、これからの時代に、産業教育が一層必要となってくるといった視点を含めてはどうか。

○本答申が、何年先の未来を見据えたものなのか、具体的な年数を記載したほうがよい。

② 「第1章：本県高等学校を取り巻く現状と課題」について

○産業教育に「家庭」が含まれていることが理解しやすいように、それぞれの学科が何を目指しているのか、どんな学びを提供しているのかということを目頭で定義しておいてはどうか。

③ 「第2章：これからの時代を担う人材を育成する産業教育の在り方」について

○特に意見なし。

④ 「第3章：魅力ある産業教育」について

- 中高接続という視点で、中学校と専門高校の生徒間の交流や教員間の接点などを追記してはどうか。
- 滋賀らしい学びについては、特色ある教育として、具体的な事例を示したほうがよい。
- 学校ホームページによる情報発信では、わかりやすい情報発信、最新の情報を発信することや、ホームページ更新に係る技術的なサポート体制、洗練させるためにアドバイスが受けられる仕組みなど考えてはどうか。
- 産業を学ぶ専門高校の魅力は動画で発信することが伝えやすく、各学科の学びを活かしたHow to動画など、普通科高校にはできないコンテンツの充実が望まれる。
- 生徒の肖像権に関しては、手元を中心に撮影したり、キャラクターを使用するなど工夫をすることで対応できる。

⑤ 「第4章：各学科における学びの在り方」について

- 「家庭」について、生活者の視点、暮らしに密着しているという点で、全ての学科に含まれるべき要素があることを触れたほうがよい。
- 「商業」について、生産・流通・消費の流れの中に、原材料の調達、配送、販売なども含め、環境保全、環境負荷の低減なども要素として含めておいたほうがよい。

4. 閉 会

- ・今回で最終の出席となる臼井専門委員および小島専門委員から挨拶があった。
- ・閉会にあたり、福永教育長から挨拶があった。

次回、第5回審議会の日程については、7月30日（金）15時15分から17時15分で開催することとし、委員には改めて通知することとした。